

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 秋山茂則
幹事 和田正敏
会報委員長 佐野寛

No. 44

自分を越えた眼を

LOOK BEYOND YOURSELF

1991~92年度 RI会長 ラジェンドラ・K・サフー

第482回例会 平成4年6月9日(火) 晴

◇ “それでこそロータリー”

◇出席報告

会員 68(65)名 出席 48名
出席率 73.85%
前回 6月2日(修正出席率) 93.85%

◇ビジター紹介 3名

◇ニコボックス

米山奨学生 孫 宏業君 今度の1年間よろしくお願ひします。

秋山 茂則君、安藤 鑑之助君、佐久間良治君 今日の笑顔。

和田 正敏君 米山奨学生 孫 宏業さんを迎えて。

山本 眞輔君 本日の朝日新聞初め各紙に作品を御紹介頂きました。

松居 敬二君 ホームクラブ久し振りです。

小杉 啓彰君、魚津 常義君 誕生日祝ひ。

◇和田幹事報告

1. 次回例会終了後、次年度理事役員、各委員長会を開催いたしますので、理事役員、各委員長はお残り下さい。尚、委員長欠席の場合は、副委員長の代理をお願いします。
2. ロータリーの友6月号、1992~3年ロータリー手帳が来て居りますのでお帰りにお持ち下さい。

◇米山奨学生 孫 宏業君挨拶

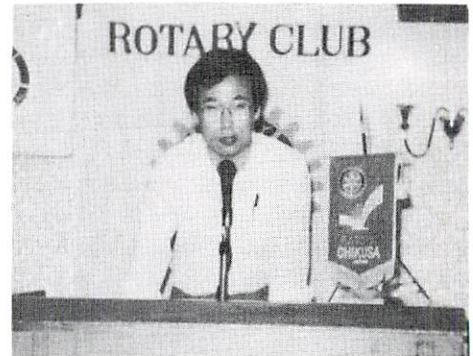
皆さん今日は、只今、ご紹介に与かりました孫と申します。

今年は卒業する前の最後の1年ですが、ロータリークラブで奨学金を頂けるということで大変助かりました。

今、ドクター3年ですが、研究テーマは液

晶相転移機構です。ご存知の通り、日本では多くの会社が液晶の研究をしています。

日本に来て2年半になりますが、日本語はまだ勉強中ですので、卒業するまでの1年よろしくお願ひします。



◇中山委員長からお願い

皆さん、ウィークリーやガバナーズレターでお気付きのように当クラブの出席率が、最近悪くなっております。特に新しく入られた方にそのような傾向が強いので、ロータリーの規則をよく読んで頂き、是非メイクアップをして下さい。あと残すところ2回となりましたが、出席率100%近づける為に、ご協力をお願いします。

◇秋山会長挨拶

1991~92年度地区大会

1991~92年度第2760地区大会は、名古屋港RCのホストで6月6日・7日の2日間、第一日は観光ホテル、第二日は名古屋国際会議場において、“歴史がある、未来がある、感動がある”の大会テーマのもとに盛大に開催挙行されました。来賓に鈴木知事、西尾市長、特別出席者に安部豊任(甲府RC)RI会長代理

ご夫婦はじめ地区外より17名の現職ガバナーの参加を得、地区内からは歴代先輩ガバナー及び72RCから2590余名のロータリアンが出席致しました。RI会長ラジェンドラ・Kサブー氏は「この大会において我々ロータリアンは、互に親睦を深め、またいかにしてより意義のある奉仕活動を行って行くかを考える機会が多々あるかと思えます。ここで奉仕への情熱と知識を新たにし、他のロータリアンへこれを広め、ひいては今後のロータリー活動に活かしていただければ幸いです」と当地区への希望と期待のメッセージを寄せております。第一日目の行事に「ロータリーの明日を考える」のテーマで、パストガバナーが3人、ガバナーノミニー1人の計4人の公開ミーティングがありました。その中で高齢化の進む日本でのロータリーの将来について……現在出生率が女性1人に1.53人、このままの出生率で考えても将来の若年層の減少傾向は否めずロータリー会員にも先細り現象がでてくるのではないか、昭和32年生の人が65才になったとき(2030年)ロータリアンはシニアばかりになっているのではないか、会場から思わず笑声が湧きましたが、本当に日本のロータリーはどうなるのでしょうか。神戸ガバナーノミニーは次年度重点目標として地球環境問題を挙げ、また共通プログラムとして地球上における飢餓・識字率の問題を推進して行きたいとその所信を述べておられました。第二日目は会場を国際会議場に移し、早朝より賑々しく楽しい雰囲気の中で行事は消化されて行きました。その模様は他の報告で。

~~~~第2760地区年次大会報告~~~~

6月6日(土)大会本会議 第1日

於：名古屋観光ホテル

吉田社会奉仕委員長

午前10時より地区諮問委員会大会決議委員会・選挙管理委員会・登録委員会に加わってRI会長代理を囲む昼食会等が催された様でございますが我々は午後1時から始まる本会議だけに出席義務者としてその務めを果たして参りました様な訳であります。会議の内容につきましては昨年も私は岡崎で行われた地区大会に出席しましたが昨年同様(加納泉)ガバナーの点鐘に始まり筋書通り進行しその後段々と盛り上りを見せ国際ロータリー会長ラジェンドラ・Kサブーの代理として安部RI会長代理から1991年度の始めから現在迄のRIの足跡及び現況報告がスライドを交へての講演があり大会決議委員長である盛田パストガバナーより大会決議案第1号議案より第8号議案迄の8つの決議案が提出され加納ガバナーに依り万場一致

で採決されました。

大会決議(案)

《第1号議案》

ラジェンドラ・K. サブーR.I.会長のテーマを支持する件

ラジェンドラ・K. サブーR.I.会長は、本年度方針として“LOOK BEYOND YOURSELF 「自分を越えた眼を」”を掲げられ、全世界のロータリアンに対する行動方針を示されました。当地区ロータリアンはこのテーマを遵守し、奉仕に一層の活力を投入し、情熱をもって推進することを決議致します。

《第2号議案》

RI会長代理 安部豊任氏ご夫妻に感謝の件
国際ロータリー第2760地区 1991~'92年度地区大会に際し、ラジェンドラ・K. サブーR.I.会長は、会長代理として安部豊任氏ご夫妻を派遣されました。

同氏は本年度R.I.の計画及び現況につき会長メッセージと共に報告され、参加者一同に深い感銘を与えられました。本大会は、ラジェンドラ・K. サブーR.I.会長のご高配と安部豊任氏会長代理ご夫妻のご苦勞に対し、深甚なる感謝の意を表することを決議致します。

《第3号議案》

環境保全のための奉仕活動を推進する件

地球環境の保全については、今や世界規模的な関心事となってきました。当地区内ロータリアンは、この問題の重要性に深い理解を示し、趣旨の実行のため積極的な奉仕活動を推進することを決議致します。

《第4号議案》

1991~'92年度国際大会に参加協力する件

本年度国際ロータリー年次大会は、1992年6月14日~17日の4日間にわたり、米国フロリダ州オーランドに於いて、ラジェンドラ・K. サブーR.I.会長主催のもとで盛大に開催されます。

地区内ロータリアンは、こぞって協力することを決議致します。

《第5号議案》

1990~'91年度国際ロータリー第2760地区ガバナー中村繁男君に対する感謝の件

地区ガバナー在任中の中村繁男君は、豊かな経験と卓越した識見をもって地区の発展に多大の貢献をされました。よってこの功績を讃え、深甚なる謝意を表することを決議致します。

《第6号議案》

地区大会記念事業の件

本大会は、環境保全の一環として愛知県に100万円、名古屋市に200万円並びに万国旗(115ヶ所)を夫々寄付することを決議します。

《第7号議案》

ホストクラブ並びに協力団体に対する感謝の件
本大会の成功はホスト名古屋港ロータリークラブの会員並びにその家族の一方ならぬご尽力と、協力団体の格別なご支援の賜物であります。ここに心からなる感謝の意を表することを決議致します。

《第8号議案》

次年度地区大会開催の件

1992~'93年度地区大会は、瀬戸ロータリークラブをホストとして、1992年11月22日・23日・24日、瀬戸市において開催することを決議致します。

続いてパネル討論の形式でロータリーミーティング「ロータリーの明日を考える」と云うテーマで盛田パストガバナーの司会役で戸田孝、福田浩三パストガバナー神戸政治ガバナーノミニのメンバーで開催され先づ戸田パストガバナーより、

- ・ロータリーと云う所はほんとうにすばらしい所である。
- ・併し乍らこのすばらしいロータリーも最近寸度脂肪太りの傾向が感じられる。
- ・この為如何にして活性化を計り明日のロータリーを考えて行くか

と云う問題について熱気あふれるディスカッションが行われ大変感動しました。

これが6月6日大会第1日のハイライトではないかと思えます。

その後「世界社会奉仕活動の現況について」と題し地区世界社会奉仕委員長安藤幸治氏より報告の後各種の表彰を行い本大会の幕を閉じました。以上大会第一日目に出席しましてその概略を報告させていただきます。

尚私事少し早いかも知れませんが昨日、クレストンホテルに於いて聞かれた新旧市内19RC社会奉仕委員長会議に出席して本年度千種ロータリークラブ社会奉仕委員長の仕事は略終りました在任中は大変皆様にご協力をいただき何んとか大役を果す事が出来この席をかりて皆様に厚く御礼申し上げます。

誠に有難うございました。

以上をもちまして私の報告を終わります。

6月7日(日)大会本会議 第2日

於：名古屋国際会議場

釜谷 健一君

大会2日目のソニー(株)盛田会長の記念講演についてご報告させていただきます。

ソニーは、現在全世界に社員が12万人、その内の55%が外国人です。盛田さんは、欧米で物を作っていればしかられることはない

思っていました、欧米人は日本企業の欧州工場やアメリカ工場で作ったものは日本製だという認識をもっていたのです。

では何故こんなに日本は嫌われるのでしょうか。その原因はやはり日本式経営にあるというのです。盛田さんの主張は、日本の経営の在り方をもう一度考えようという事です。一生懸命働いて良い物を作って、世界中で喜ばれているにもかかわらず、相手の国やメーカーが日本を異端視するのは、我々が西洋諸国とは違ったビジネスルールでビジネスをやっているからではないか。

イ. 日本人は働きすぎている。

ロ. 我々の生活は欧米人に比べて本当に豊かでゆとりがあるのだろうか。

ハ. 株主に対する株式の配当が低すぎる。

ニ. 働いても働いても企業も個人も半分以上の高い税金がとられる。

ホ. 下請や協力会社に充分むくいているのだろうか。

ヘ. 自分の企業があるコミュニティーに対して奉仕しているのだろうか。

これが、欧州の企業の1つのルールであれば日本の企業の考え方を変えていかなければいけない。

この盛田さんの意見に対して色々な批判がありますが、その代表的なものとして

I. 働く時間を減らし

II. 給料を多くし

III. 配当を増やしたら

日本は競争に勝てなくなるのではないかとことです。

これに対し盛田さんは、確かに一時的に競争力は弱くなるかもしれないが、日本の競争力がI、II、IIIによって得たものであればそれはフェアプレーではなく情けないことだ。本当の競争力は、その企業のステイクホルダーに正当なコストを払って得たものでなければいけない。(ステイクホルダーとは、その企業をとりまく株主、社員、コミュニティーなどをいう)頭を使って努力して勝てば、彼らは賞賛してくれるのだから、我々も同じルールの上で競争をしても、努力すれば必ず勝てると思う。今、ヨーロッパは統合する為に自分達の国の利益を犠牲にしても大ヨーロッパを作ろうとしている。多少、自分達のことを我慢しても大ヨーロッパを作ろうとしているその気持ちを我々は学ばなくてははいけない。そういうことを考えると、本当に一番大きな目的に向かってどうしてゆくかを考えて、行動してゆかなければならない。外から見たらそれは自分の責任をもっとはっきりさせるという事で、自分自身が自分の事に責任を持つとい

う自己責任を持つことが大切である。我々が進むべき道は皆さんおわかりだと思うが、これを実行できるように一人一人が責任を持って日本を変えていく努力をしなければいけないということで講演が終わりました。

この講演の中で、下請、協力会社にむくいているだろうかというお話がございましたが毎年のように大企業から強力値引きやコストダウンを迫られていますので、盛田さんの意見が大賛成ですが、現実は大変きびしいというのが私の実感です。

小杉 啓彰君

8:30加納ガバナーの点鐘に始まり順次プログラムに沿って進行され、大会決議案も8項目無事採択されました。

特に第6号議案の地区大会記念事業の件について説明させていただきますと、福祉事業の一環として愛知県に100万円、名古屋市に200万円と現在名古屋国際会議場に万国旗がないということで、115ヶ国分夫々寄付することを決議し、来賓として出席いただいた鈴木愛知県知事、西尾名古屋市長に直ちに手渡されました。

次に記念講演として盛田ソニー会長の「これから日本の歩く道」という題のお話は、初めてお聞かせいただいた私にとりまして、大変興味深く、しかも参考になる内容の講演であり、印象に残りました。

また、このようにスケールの大きい大会を準備された港ロータリーの皆様のご苦勞に感謝いたします。

奥村登喜朗君

大会には安部豊任R.I.会長代理御夫妻をお迎えし、また、鈴木愛知県知事、西尾名古屋市長が来賓として出席されました。センチュリーホールで開かれました午前の部は、物故会員追悼、新クラブである西尾KIRARA、名古屋昭和、両ロータリークラブの紹介、出席に続き、加納ガバナーの主催者挨拶、安部R.I.会長代理の講演、そして大会決議報告といった順にて主な議題が進行しました。前日採択されました8議案が大会決議として報告されましたが、その内、第6号議案は地区大会記念事業として、愛知県に100万円、名古屋市に200万円と万国旗を寄付する件、第8号議案は次年度の地区大会を本年11月22～24日、瀬戸ロータリークラブをホストとして瀬戸市で開催する件でした。次いで、盛田昭夫ソニー(株)会長が「これから日本の歩く道」と題して、記念講演をされました。盛田会長は、文芸春秋で発表され、昨今なにかと話題になっている日本の経営の問題点を中心に話されました。

午後はイベントホールに場所を替え、懇親会が開催されました。懇親会では、青少年奉仕活動委員会による奨学生、交換学生、ロータリーアクトクラブ、インターアクトクラブの紹介、更には次期開催地区及びホストクラブである瀬戸ロータリークラブの紹介とご挨拶がありました。

地区大会には初めて参加させていただきましたが、そのスケールの大きさと、格調高い大会運営に大変感動致しました。そしてホストクラブ、名古屋港ロータリークラブの皆様の御尽力には、敬意を表します。

◇例会場変更のお知らせ

- | | |
|----------|--|
| 名古屋港R C | 7・8月中名鉄ニューグランドホテルにて
(現在名鉄グランドホテル) |
| 名古屋名南R C | 7/21～8/25まで名鉄ニューグランドホテルにて
(現在名鉄グランドホテル) |

◇情報抄録より

米貨1,000ドルでできること

あなたがポール・ハリス・フェローになり、ロータリー財団が米貨1,000ドルの寄付を受け取った時、その寄付がどのように使われるか疑問に思っていることでしょうか。あなたの寄付がロータリーでどのように生かされるかいくつか例を挙げてみましょう。米貨1,000ドルで次のことができます。

- ◆タイのベトングのロータリー後援の孤児院で4人の子供を全面的に支援できます。食費、学費、書籍、制服、寝具、家庭用品すべてを賄えます。
- ◆インドのカルナタカ州ではロータリー・アイ・キャンプで100人に、白内障と緑内障の手術ができます。
- ◆ベリーズでは5,000人に、子供にポリオの予防接種ができます。
- ◆ジャマイカでは樹木の苗床をつくれます。そして、毎年、いろいろな果樹、コーヒー、カカオの木から5,000もの実がなり、700家族の収入を増やします。
- ◆インドのタミール・ナドゥ州では、深い掘抜き井戸を建設する資材となり、300人以上の人に清浄な水を供給します。

◇次回例会(6月16日)

講演 “私の職業”
会員 田部井良和君

◇次々回例会(6月23日)

最終例会